

日本共産党

ひめだ高宏ニュース

No.32

08.8.20

海南市資源ごみ集団回収補助を学ぶ

8月8日(金)日本共産党の大畑主馬市議、中村朝人事務局長、くにしげ秀明衆院候補と私、ひめだは、河野敏二海南市議の案内で、資源ごみの集団回収補助の東態について海南市の担当者から話を聞きました。

市民参画でごみ減量・リサイクル進む

海南市では、ごみの減量と資源のリサイクルを市民の共同参画で何かできないかということ、集団回収に対し4年ごころから補助を始め、当初はキロ当たり4円を補助、その後、対象品目を増やしたり補助金額を4円に引き上げています。補助金は、「海南市資源回収補助金交付要綱」(全10条)で定めています。交付対象団体は、市内自治会、子どもクラブ、婦人会、老

フリ-の人々

(575)



メダルの数が減る



人クラブ、PTA等啓発を目的とした団体で、資源6品目の集団回収の対象品目は、段ボール、雑誌、新聞、アルミ缶、牛乳パック、古着の6品目。登録団体は、個々にリサイクル業者と契約します。収集量や回収の形態で、契約金額は団体により違いますが、市としては一切関知しないとのこと。登録団体が資源ごみをリサイクル業者に引き渡すと、業者は品目と量を記載したは切書を登録団体に発行します。登録団体は、そのは切書を1年間保管し、まとめて市に提出。市は、

の集団回収を実施している団体で、67団体が登録済み。その量に基づき補助金を交付する仕組みです。市は集団回収した物に触れず、補助金を支給するだけです。

こんにちは

県会議員の

ふじい健太郎

(その221)

厳しい暑さが続いています。いかがお過ごしでしょうか。

私はアツイアツイと言いつつながら議会報告を持って地域訪問を続けています。親子でやっている魚屋さんを訪ねましたら、

売り上げが割も落ち、息子さんの転職を考えているとのことでした。後期高齢者医療が始まって家族全員の保険料を合算すると12万円も増えたという人もいました。収入は減るのに負担は増え続

け、泣くのは庶民ばかりです。こうなれば庶民の力で政治を変えるしか道はありません。

9月28日には岩出市長選挙がありますが、現職市長は「後期高齢者医療制度」をほめたたえ、2百人を超えるマンモス保育所やマンモス中学校を放置したままです。

こういう政治を変えるために日本共産党から、「下村まさひろ」さんが立候補を表明しました。激励と合わせて応援に行ってきました。



ふじい健太郎 県会議員

有料化に頼らないゴミ減量策

今回、海南市で学んだ一番のことは、ごみの減量と市民参画を同時に進めるといふ海南市の姿勢がハッキリしており、担当者も自信を持って事業を進めているということなのです。

担当者から集団回収を実施している田辺市や他都市の状況や2020年までに焼却・埋め立てをなくしていくと宣言し、徹底的な

分別を実施している徳島県の上勝町の話が出るなど、他都市の進んだ状況をつかみ事業に反映しようという志を感じました。

和歌山市のごみ収集の有料化計画について聞いてみました。海南市では現状では有料化はできないとのことでした。

集団回収の登録団体の中には、補助対象品以外の

岩出市長選 下村まさひろ 立候補

集団回収を行っていると一語も印象的でした。

9月21日(日)告示、28日(日)投票を行われる岩出市長選に、日本共産党公認で、下村まさひろ党紀北地区委員長が立候補します。

岩出市は、38・5km²の面積に5万2千人が住む街に発展し、市民の要求も、教育・福祉・住環境整備などに集中しています。税金も確実に増え、市民要求を

実現に増え、市民要求を

現でできるはずですが、現中

岩出市の12年は、保育所や小中学校のマンモス化解消の方針を立てず、35人学級の全学年実施を拒んでいる

県下でただ一つの自治体になっっています。財政調整基金も40億円を超える基金を持ちながら、市民の願いに背を向け、市民要求の実現を拒み続ける態度をとっています。



下村まさひろ
党紀北地区委員長
1955年1月生まれ 53歳
和歌山大学教育学部卒業
趣味は天体観測

下村まさひろさんは、①県下の子育て支援のまちに、②高齢者が住み続けられるまちに、③若者に仕事を、④防災と住環境整備を4つのあったかプランを実現で「市民が主人公」の住みよい岩出市を主張。

岩出市に知り合いのある方はぜひご紹介ください。また、電話かけ、ビラ配り、宣伝カーの運転などのボランティア募集中です。

こんにちは

日本共産党



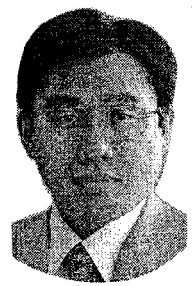
介護の事業所訪問を始め、

常勤の介護職員の平均給与額は、民間の研究会の調査では、月22万7千円です。これは全労働者

平均の6割程度です。このため離職率は全産業平均より高くなっています。

県内では今年初め、「職員的生活改善のための希望署名」がとりこまれました。14万筆を超えました。和歌山の動きが全国に波及し、その10倍以上の大きな署名運動になつたそうです。

職員の待遇改善のために



にしげ秀明 (衆院1区・比例)

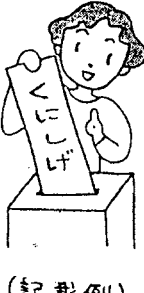
は、国庫負担の引き上げなどで報酬を大幅に上げる必要があります。外添厚生労働大臣は、報酬アップを理由に保険料引き上げを主張していますが、これは許せません。

衆議院選挙の投票方法は

制度 解説

小選挙区選挙

候補者名を書いて投票します



(記載例)

比例代表選挙

政党名を書いて投票します



(記載例)